

令和6年度 後期学校評価（結果）についてお知らせ

学校教育目標「たくましく挑戦する子」重点目標 ～言葉でつながろう～ の充実に向けて

早いもので令和6年度も残すところわずかとなりました。各学年、進級に向けて学年のまとめに取り組んでいます。冬休み前には、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。後期の学校評価の報告と共に、4月からの新しい年度に向けて、東小学校の思いや願いを保護者の皆様とも共通理解できたらと思います。

東小学校グランドデザインより

☆学校の目標☆（ ）の値は学校の目標値 後期の数値←前期の数値

- 学校が楽しい…96%←95.9%(100%)
- 自分にはよいところがある…83.7%←83.6%(100%)
- 進んで表現しようとする…95.9%←87.8%(98%)
- 読書は好きですか…77.6%←85.7%(94%)
- 家庭学習をよくする…93.8%←83.6%(99%)



【千人集会に向かう様子】

重点としている5つについて、目標数値まであと一歩となりましたが、前期よりは数値が上昇したものが多くありました。他項目においても、上昇したものが多かったです。

★アンケートの結果からわかること★ （ ）は「そう思う」と「どちらかというと思う」の数値

(1) 成果

(児童)

- ・家で勉強や宿題をやっていると思いますか。(93.8%)
- ・地域の人が色々な場面で手伝ってくれるのは嬉しいですか。(100%)
- ・授業では、自分で考えたり自分から取り組んだりしていますか。(97.9%)

前期の学校評価では、この項目において、87.8%という数値でした。それを受け、主体的に学習を進めるための手立てを考えてきました。学校では考えなくなるような課題を意識したり、自分の考えをもつ場を設定したりすることを意識してきました。「自分から」取り組む姿勢をこれからも大切にしていきます。

(保護者)

- ・お子さんは、楽しく学校生活を送っていますか。(95.9%)
- ・お子さんは、自分の思いや考えを話したり書いたりして表現しようとしていますか。(87.7%)
- ・コミュニティスクール・ボランティア(地域・ボランティア)は、子供の学びに役立っていますか。(100%)

高い評価をいただき嬉しく思います。家庭と学校とが協働で教育活動にあたることができていることの成果だと思います。2番目の項目はまだ90%には届きませんが、ご家庭において、思いや考えを話したり伝えたりするお子様の姿が見られるようになったこと、それを見取っていただけていること、感謝いたします。

(2) 課題

(児童)

- ・自分には、よいところがあると思いますか。(83.7%)

(保護者)

- ・お子さんは、自分なりに目標をもち、それに向かって努力していますか。(83.6%)

子どもたちの評価は前期に比べ上昇しましたが、保護者の数値は下降いたしました。目標の大きさは様々。どんな目標でもOK、まずは、「自分で目標を決める」ということができるようになることよいと思います。

- ・お子さんは、温かい聞き方や話し方ができていますか。(81.6%)

こちらも子どもたちの評価と保護者の評価にはずれが見られました。お家で見せる姿はまた違うのかもしれませんが、挨拶に加え、温かく話を聞いたり話したりすることは、人間関係を豊かにします。引き続き大切にしていきます。

目標もつこと、については、児童の「そう思う」と答えた割合は、57.1%でした。授業や係の仕事など、やる事が明確なものについては、とてもよく頑張っている子どもたちです。しかし、自身では、『目標をもって頑張っている』とっていない子が半分近くいるのだと気付きました。目標を抱けていないのか、努力が足りないと感じているのか、子どもの声を聴いてみたい結果となりました。学校では、学習や生活、各行事において、各活動の目的や目標を子どもと共有し、子どもが目標を語れるような手立てを考えていきます。また、子供が「〇〇したい!」「こうなりたい!」「こうしたい!」と言えるようになる姿を目指し、教育活動を行いたいと思います。

(3) 自由記述から

貴重なご意見をいただきました。全ての意見を全職員で共有しました。今後も、変更の趣旨や活動の意図などを説明し、保護者の方々の理解を得られるようにしていきたいと考えます。いくつかをご紹介します。

- 毎日タブレットを持ち帰るのは重たいので、週末だけにしてほしいです。
→ランドセルの中身を精選することで対応しています。タブレットも子どもたちが筆記用具のひとつとして活用していける学習に取り組んでいるところです。
- 子どもの体力アップと忍耐力・持続力を培うためにも、朝の5分間走、持久走大会を復活させてほしい。
→来年度、体力アップの時間を少し増やすことになりました。また、内容についても考えていきます。
- 東小ならではの自然環境を生かしてほしい。
→自然に限らず、地域のよさを生かした教育活動を心掛けています。自然環境については、来年度も1.2年生は生活科の中で、3.4年生は理科の学習の中で自然観察教室を行います。
- 個別の対応が手厚いところが少人数の学校のよさだと思っていますので、今後もフォローと相談をお願いします。
→少人数だからこそできることがたくさんあると思います。教師の支援、子どもの活動、東小のよさを生かした教育に努めます。
- 今までは、少人数で困ることもなく過ごせましたが、少人数が辛く感じることも増えてしまいました。
→少人数だからこそそのよさ、そして大変さもあることと思います。担任以外にも相談の窓口ができるよう、たてわりでの活動、教師のローテーションによる読み聞かせ、学年団での授業等、学級以外の集団と活動できる時間を増やすような教育課程をつくっているところです。
- 小小交流は東小の児童が須津小のおまけではなく、対等に班長や係などを決められるようにした方がよい。
→他校と一緒にいう行事は、打ち合わせや準備がなかなか難しいことがありますが、しっかり調整を行っています。
- 新聞やテレビ等の広報の力を今以上に利用して、発信していく。東小が当たり前に取り組んでいる活動も、素晴らしい取り組みがたくさんあることを伝えていく。児童と教師でプレゼンテーションしていく。教師の授業力アップにもつながる。
→大きな行事があるときには報道に投げ掛けていますが、残念ながら記事を扱っていただけないこともあります。ホームページだけでなく、引き続き広報していきます。何かよい方法がありましたらご提案ください。
- 良いところをもっと伸ばしていけるように見守っていただけると嬉しく思います。
→お家の方をお願いするだけでなく、私たち教職員も子どものよさをもっと口に出し、褒めていきたいと思っています。また、子どものよさを教職員間でも共有していくよう一層意識します。
- 学校からのお便りを学校に置きっぱなしにしたり、何度言っても出してこなかったりするので、マチコミなどで配信してほしいです。
→紙媒体での配付や回収を減らしていくことを検討しています。
- 体験型の学習がもっと増えていいなと思います。今年度吉永二小で取り組んでいる日本総研の「しくみ～な@」という職業体験はとてもよくできた体験型の社会勉強です。
→富士市の学校向けに開かれた「しくみ～な@」の説明会に参加してきました。吉永二小の成果も聞きました。それを受け、来年度、東小でも6年生の総合的な学習の時間のキャリア教育の一環として、応募をしてみました。
- アンケートもまとめただけでは意味がないので、実現するにはどうしたらよいのか、その仕組みや取り組みが必要だと思っています。せっかくよい意見が出てそのまままになってしまうのは本当に勿体ないので、学校・保護者・地域でどうしたらそれを形にできるかを考えなければいけないと思います。
→学校の教育目標や経営目標、重点目標に照らし合わせながら、東小の子どもたちに身に付けてほしい資質や能力を考えて教育課程をつくっています。昨年度から11月の学校運営協議会では、地域の方と4～6年生が懇談する時間（トークフォークダンス）を設け、互いの願いや思いを聞き合う時間を設定しています。そこで挙げられた学校の主役である子どもたちの声も反映できるような学校づくりを進めたいと思っています。どうぞ、ご協力お願いいたします。



今回の学校アンケートは皆様のご協力のおかげで100%回収させていただくことができました。自由記述におきましても、たくさんのご意見をありがとうございました。

お子さんのことでお悩みのこと、学校への依頼などありましたら、いつでもお知らせください。全職員で共通理解し、ご家庭と共にお子さんのことを考えていきたいと思っています。